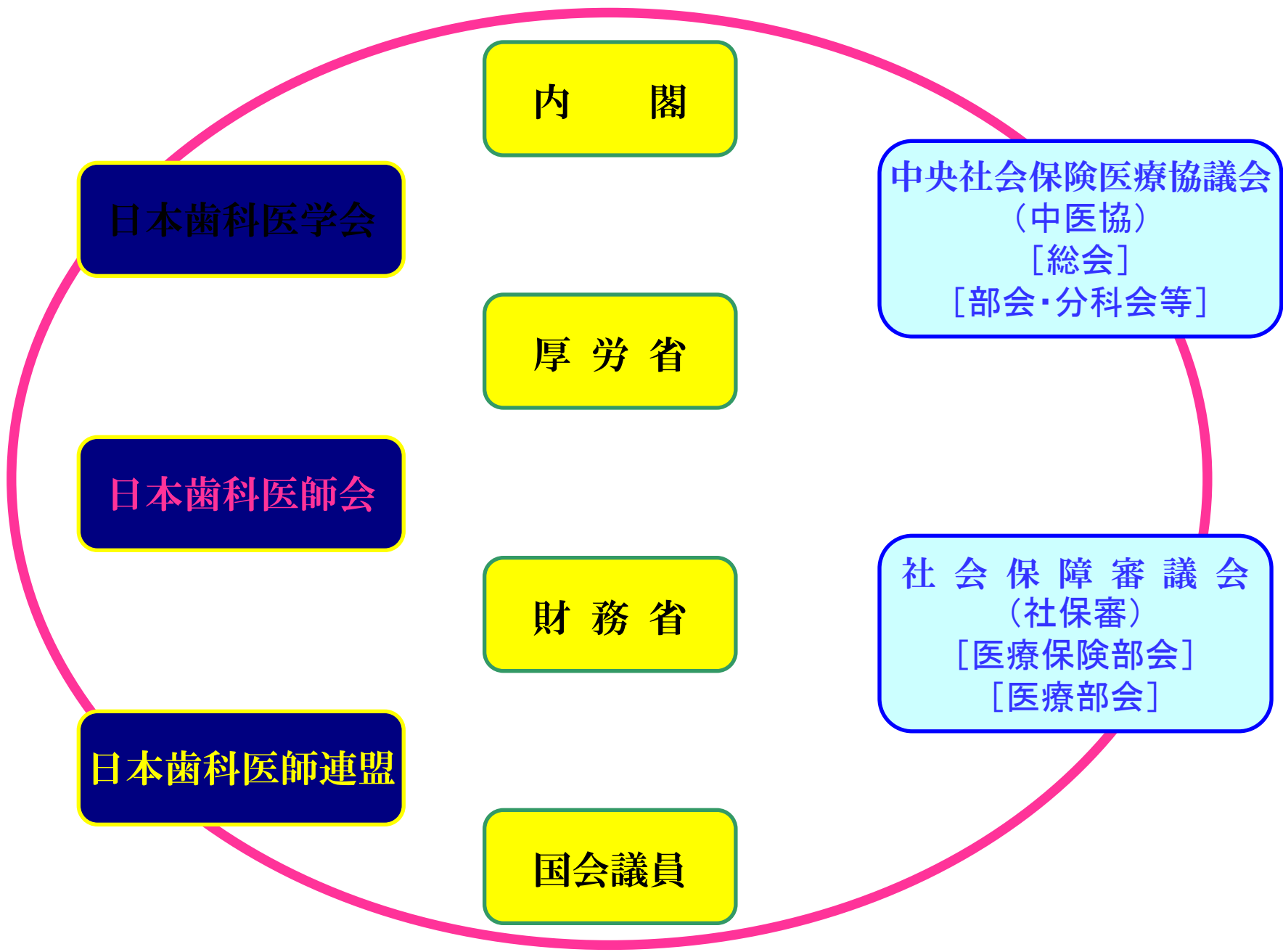


診療内容に対する制度において関連している団体

- 現場で臨床を実施しているところ
- 医療保険を調整しているところ
- 状況の整合性を審議するところ



日本歯科医学会

内閣

中央社会保険医療協議会
(中医協)
[総会]
[部会・分科会等]

日本歯科医師会

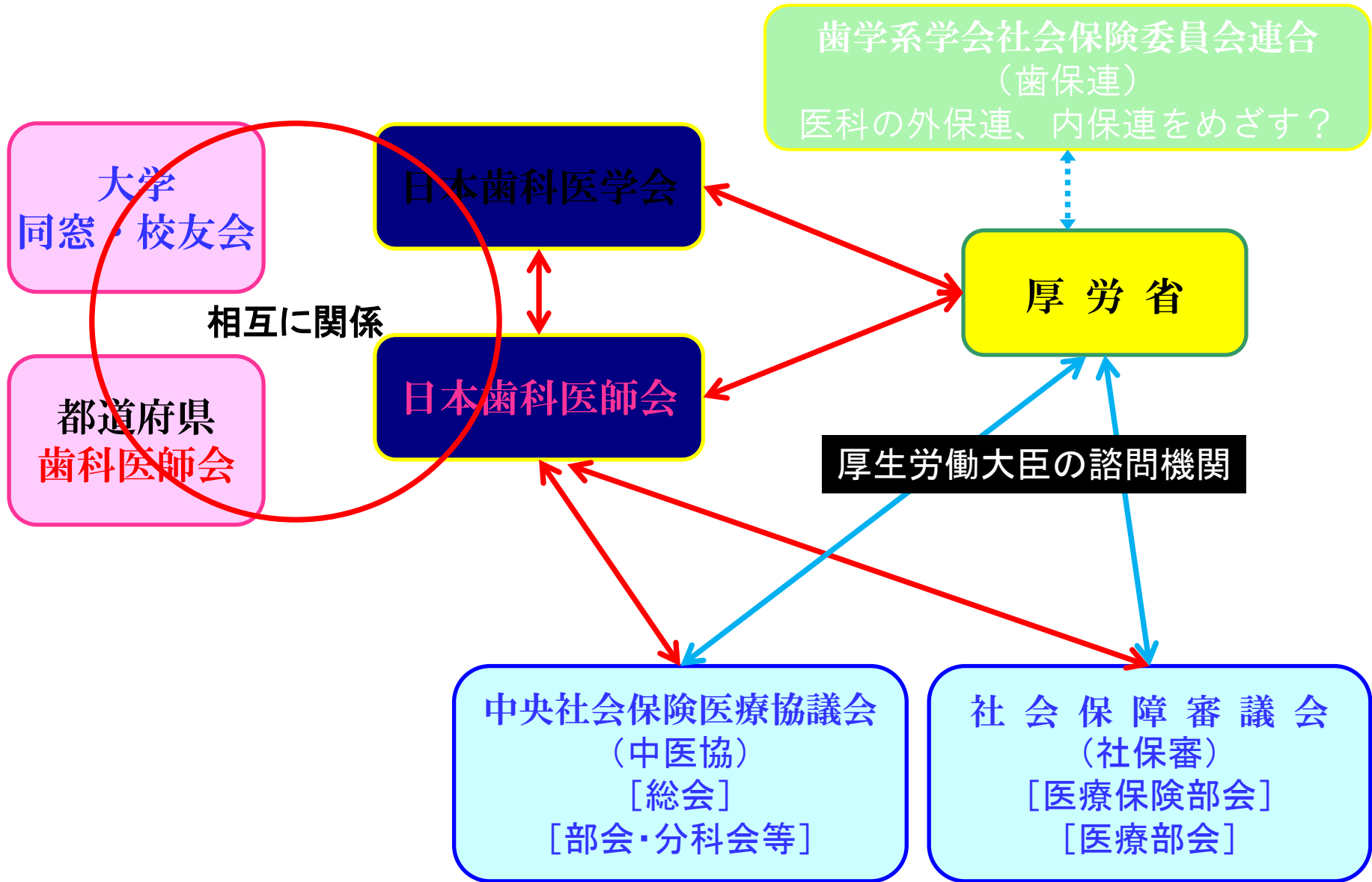
厚労省

社会保障審議会
(社保審)
[医療保険部会]
[医療部会]

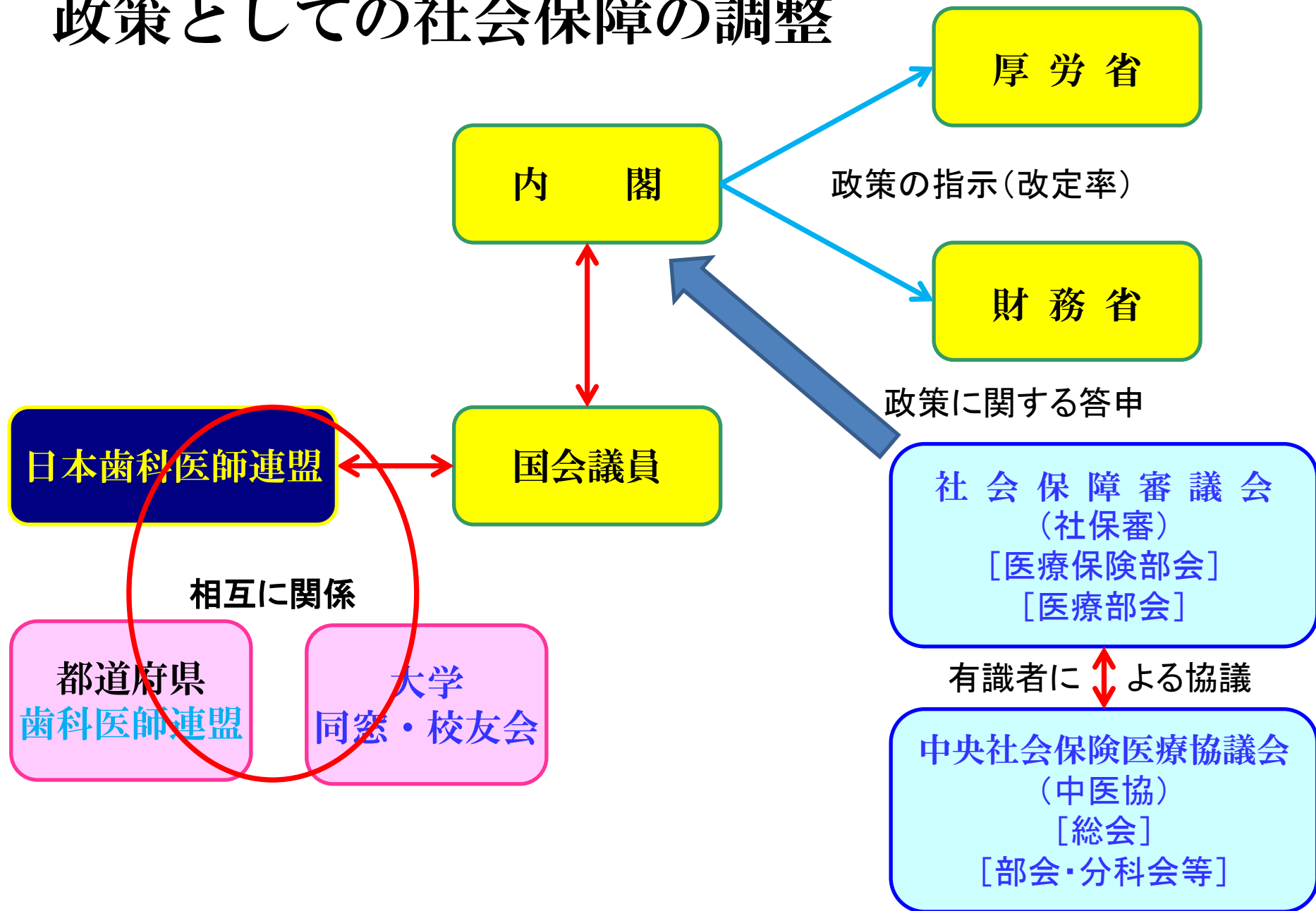
日本歯科医師連盟

国会議員

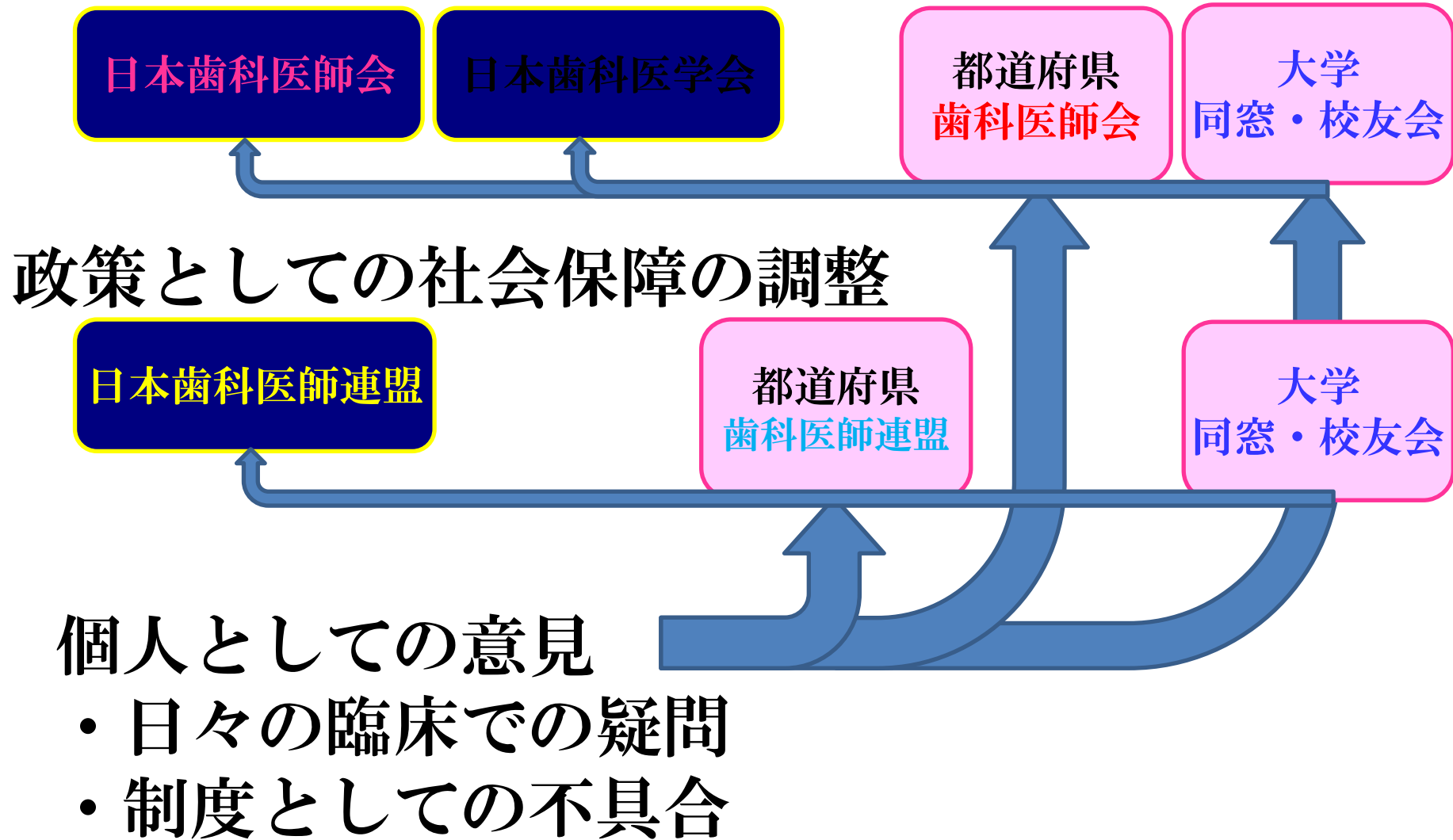
医療医保険の内容調整と改定



政策としての社会保障の調整



医療保険の内容調整と改定



都道府県
歯科医師連盟

都道府県
歯科医師会

大学
同窓・校友会

- 新規開業時、医療保険の新規個別指導
- 「診療内容に対する制度」において
⇒医療保険の取扱い・請求が不明

医療保険制度の欠点

- 治療に対する評価が低く、スキルの差や知識の履修が評価されないので医療機関の疲弊、治療内容の低下が起きやすい
- 治療に対する評価が低く、行った治療の保障を提示しがたい
- 処置の時間に対する利益率が低いため、数の理論になりやすい
- 最良な治療が保険に含まれていない場合が多く、医療の質を問われる
- 材料及び治療内容が保険適応でない場合があり、混合診療とのすみ分けが必要

今後を考える必要があることは・・・①

- 医学管理、検査、在宅医療、処置は増加
- 患者さんの減少
 - 初診の減少と再診の増加はあるが、1日の来院数が減少のため初再診は減少
- 対象疾患の減少
 - 診断のための画像診断は減少
- 欠損の減少
 - 歯冠修復・欠損補綴は減少

初再診料、画像診断、歯冠修復・欠損補綴について本来あるべき診療報酬を個人が認識し、地域歯科医師会、同窓・校友会を通して声を上げることが重要。これらの改善により少しでも状況は変えられるのではないだろうか

今後を考える必要があることは・・・②

- 現状の外来における歯科疾患は減少。医療保険の特質（処置に対する均一な料金）から同じ処置に対しては、より高いスキルを持った医療機関が優位性を持つだろう
- 在宅歯科医療においては、まだ、環境が整っておらず、診療を必要としている患者さんが埋もれていると同時に医科連携を充実させることにより、プライマリ・ケアの向上とチーム内での歯科のポジションアップが可能と思われる

技官の募集(厚生労働省)

医系技官採用情報 (平成24年度)

応募資格：日本国籍を有する歯科医師

次の場合は臨床研修の終了(見込みを含む)が必須

・平成18年4月以降に歯科医師免許を所得した方

応募期間：平成24年9月3日(月) (当日消印有効)

応募書類：①履歴書

②緊急連絡先登録票

③推薦状2通

④歯科医師免許の写し

⑤小論文〈留意点あり〉

1. 少子高齢化進む我が国において、厚生労働省医系技官が果たすべき役割について述べよ

2. 最期まで住み慣れた地域で健康に暮らすことを望んでいる方に対し、適切な医療を提供するためにはどのような対策を講ずるべきか。国、医療機関、医療従事者のそれぞれの役割について述べよ